

別冊①

# 事前質問一覧

## 事前質問回答集

質問内容・回答		資料 ページ	担当課
<b>【松村 和彦委員】</b>			
質問	「第4次熊本市地域福祉計画策定経費」として、750万円計上されていますが、具体的な内訳を教えてください。	P10	健康福祉政策課
回答	<p>計画策定にかかる当初予算の内訳は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○委員等報酬 450,000円 「第4次地域福祉計画策定委員会」委員報酬</li> <li>○印刷製本費 465,000円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本編 1,000冊</li> <li>・概要版 5,000部</li> </ul> </li> <li>○委託料 6,585,000円 計画策定支援業務委託 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査実施経費</li> <li>・策定委員会開催支援経費 等</li> </ul> </li> </ul>		
<b>【松村 和彦委員】</b>			
質問	<p>「校区社会福祉協議会活動支援経費」として、1校区あたり5万円を「基礎的な活動」に対する支援としていますが、「基礎的な活動」とは具体的にはどのような活動なのか、教えてください。</p> <p>また、地域福祉の推進を図るのであれば、社協だけでなく、多様な地域団体等で構成されている「校区自治協議会」に対して支援を行う方が、地域ごとに抱える課題の解決や円滑な校区運営により効果的ではないか、とも考えますが、熊本市の見解をお聞かせください。</p>	P10	健康福祉政策課
回答	<p>「基礎的な活動」に対する支援とは、本市が全ての校区社会福祉協議会に共通して求める役割である「福祉的人材の発掘と育成」、「市の福祉施策の広報」、「ネットワーク機能の強化」及び「災害時の要配慮者支援」を推進する活動を行うにあたり、基礎的にかかる経費（消耗品費、会場使用料等）への支援となります。</p> <p>なお、「校区自治協議会」に対しては、その運営が円滑に行われることを目的とし、事務等に要する経費の一部が補助されています（年額20万円以内）。</p>		

## 事前質問回答集

質問内容・回答		資料 ページ	担当課
<b>【宮崎 千恵 委員】</b>			
質問	リハ職派遣モデル事業について、具体的な実施状況をご教示いただきたい。		
回答	<p>&lt;平成30年度 自立支援型ケアプラン作成に向けたリハビリテーション専門職派遣モデル事業&gt;</p> <p><b>【対象者】</b> 要介護認定新規申請者で「自立支援型のケアプラン」の作成を希望する方</p> <p><b>【申請期間】</b> 平成30年4月1日～平成30年6月15日</p> <p><b>【新規介護認定申請件数】</b> 708件</p> <p><b>【事業申請件数】</b> 67件</p> <p><b>【実施内容】</b> 基本4回のリハ職派遣を行う。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回目：ケアマネジャーと利用者宅を訪問し、リハ職の視点を活かし事前アセスメントへの助言等を行う。</li> <li>・2回目：ケアマネジャーと利用者宅を訪問し、ケアプラン作成への助言を行う。</li> <li>・3回目：利用している介護サービスの現場に訪問し、残存能力に応じたサービスが行われているかを評価する。</li> <li>・4回目：一定期間サービス利用経過後、ケアマネジャーと利用者宅を訪問し、身体状態の変化・サービス内容の適正性等の評価（モニタリング）を支援する。</li> </ul> <p><b>【アンケート結果】</b> アンケート対象：ささえりあ（回答率100%） 「リハ専門職を活用することにより、自立支援型ケアマネジメントへの効果はありましたか」  <ul style="list-style-type: none"> <li>・はい：80.6%   ・いいえ：14.9%</li> <li>・本事業を利用しておらずわからない：4.5%</li> </ul> <p>※「はい」の具体的記載 ケアマネジャーのスキルアップ、利用者の自立支援に対する意識・意欲の向上</p> <p>※「いいえ」の具体的記載 利用者の意識・行動に課題があった（認知能力の低下等）。、利用者の身体状況・症状が重篤であった。</p> </p></p>	P21	介護保険課

事前質問回答集

質問事項・回答		資料 ページ	担当課
【宮崎 千恵 委員】			
質問	ケアプラン点検については、業務委託としてどのような委託となっているのでしょうか。		
回答	<p>&lt;平成30年度ケアプラン点検業務&gt;  <b>【目的】</b>                      地域支援事業実施要綱「主要介護給付等費用適正化事業（平成20年厚生労働大臣告示第31）」並びに第4期熊本県介護給付適正化プログラムに基づき、利用者に適切なサービスを提供できる環境の整備を図るとともに、介護給付等に要する費用の適正化を目的とする。</p> <p><b>【業務委託内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ケアプラン点検数：1,192件</li> <li>●ケアプラン点検事業所数：120事業所</li> <li>●提出書類                         <ul style="list-style-type: none"> <li>アセスメントシート</li> <li>居宅介護サービス計画書第1表～第7表</li> <li>モニタリング記録</li> <li>課題整理総括表</li> </ul> </li> <li>●点検の指標                         <ul style="list-style-type: none"> <li>「ケアプラン点検支援マニュアル」（平成20年7月18日厚生労働省）</li> </ul> </li> <li>●点検項目                         <ul style="list-style-type: none"> <li>①必要な記載事項の記入漏れ</li> <li>②利用者及び家族の生活に対する意向の捉え方が不十分</li> <li>③総合的な援助の方針が妥当でない</li> <li>④生活全般の解決すべき課題(ニーズ)の抽出が不十分</li> <li>⑤アセスメントが不十分</li> <li>⑥課題に対応した援助目標と援助内容になっていない</li> <li>⑦課題の抽出が不十分</li> <li>⑧週間サービス計画表の記載内容が不十分</li> <li>⑨目標設定が抽象的であったり、評価機関が適切でない</li> <li>⑩サービス内容・種別が不十分</li> <li>⑪その他</li> </ul> </li> <li>●事業所に対する点検結果の説明：委託業者の点検結果について、各事業所に面談を通して説明し、点検結果の必要に応じ、過誤調整・指導を行った。全体の1割の事業所の結果説明には、委託業者の管理責任者も同席し説明を行った。</li> </ul> <p>(次ページにつづく)</p>	P21	介護保険課

事前質問回答集

質問事項・回答		資料 ページ	担当課
回答 (つづき)	<p>(つづき)</p> <p>【平成30年度ケアプラン点検を行っての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の自立支援につながるケアマネジメントの一連の流れ(自立を阻害する課題の明確化、自立支援につながるサービス利用のあり方を深める)を再確認する必要がある。</li> <li>・運営基準の周知徹底の必要がある。</li> </ul> <p>【課題に対する対応策】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラン点検結果報告会 …平成30年度 5回開催</li> <li>・自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントを深める研修会の開催 …平成30年度 3回開催</li> <li>・「自立支援型ケアプラン作成に向けたリハビリテーション専門職派遣事業」の活用推進</li> <li>・「自立支援型地域ケア会議」の活用推進</li> </ul>	P21	介護保険課
【宮崎 千恵 委員】			
質問	<p>●福祉施設の整備について</p> <p>サービス付高齢者住宅・有料老人ホームなどの住宅型サービスの供給がありますが、その必要なベッド数との関係はどのように整理され、事業計画としての数となっているのでしょうか。</p>		
回答	<p>サービス付高齢者住宅や有料老人ホームなど的高齢者向け住宅については「高齢者居住安定確保計画」において、要介護者等のうち高齢者福祉施設等に入所・居住していない借家に住む方を推計し、供給目標戸数として設定しています。</p> <p>介護保険施設等については「介護保険事業計画(くまもとはつらつプラン)」において、特別養護老人ホーム・グループホーム・特定施設の待機者数をもとに、高齢者人口の伸びや要介護度、認知症自立度を考慮したうえで推計し、在宅における待機者の解消を図るために必要な施設整備数を設定しています。</p>	P22	介護保険課